

12月の感染症発生状況 (12月25日 現在)
流行性耳下腺炎(おたふく) 2名 / マイコプラズマ 1名

今月号では、「誤飲」と「やけど」についてお知らせします。

誤飲について

応急処置

1. 子どもの様子をチェックする。
反応が鈍い、意識がない、けいれんを起こした、呼吸困難を起こしている場合は、救急車を呼び病院へ行く。
2. 1以外の状態の場合、何をどれくらい飲んだか確認する。
確認が取れたら、飲み込んだものをもって受診する。

対応に迷ったら中毒110番へ!!

(財)日本中毒情報センター

つくば中毒110番(365日 9:00~21:00)

TEL:029-852-9999

大阪中毒110番(365日 24時間)

TEL:072-727-2499

やけどについて

応急処置

1. 流水で十分に冷やす
患部に触れないように注意し、流水をあてて冷やします。基本的に衣服の上から水をかけます。最低でも20分は冷やしますが、子どもが寒さで震えてきたらやめましょう。

※痛みが和らぐまで、流水で直接患部を冷やす。
※広範囲のやけどは、冷水でぬらしたシーツなどで全身を覆い、シャワーで冷やし続ける。
2. 衣服を脱がせる
ある程度冷やしたら衣服を脱がせます。皮膚からはがれないときは、無理にとらず、その部分だけ衣服は残したまま受診しましょう。
3. 患部をガーゼで覆う
患部全体を清潔なガーゼで覆い、包帯で圧迫しないよう緩めに巻きます。その後、そのまま病院へ行きます。

やけどの程度

やけどの程度	1度	2度	3度
皮膚の状態	赤くなる、水ぶくれはできない	水ぶくれ、赤くはれる皮膚が白っぽくなる	皮膚が白っぽい、または、黒っぽい、乾燥している
症状	ひりひりとした痛みがある	痛みが強くあり、ひどくなると感覚が鈍くなる。	神経も焼けているので、痛みを感じない
治癒するまで	数日で治り、後は残らない	1～2週間で治る。深いものは痕が残りやすい。	一ヶ月以上かかり、痕が残る。皮膚移植の必要も…

応急処置をして、
直ちに病院（外科か皮膚科）へ

ただちに
救急車を！

子どもの様子をチェック

子どもの状態をチェックし、次の場合は、急いで外科か皮膚科を受診しましょう。

- 患部から衣服がはがれない
→無理に脱がせると皮膚まではがれてしまうので、そのまま水をかけて、急いで病院へ。
- 皮膚が白くなり、強い痛みがある
→やけどの程度が「2度」の状態。十分に冷やしながらか、病院へ。
- 頭や顔、性器にやけどをした
→デリケートな場所です。やけどの程度に関わらず、病院で適切な処置を受けましょう。
- 水ぶくれがある
→冷やした後、患部を保護して病院へ
- 低温やけどした
→使い捨てカイロや電気カーペットなどに長時間触れ、皮膚が赤くなっている時は、冷やしてから、速やかに受診しましょう。

※低温やけどは、低い温度のものに長時間触れることで起こります。痛みを感じにくく、見た目の皮膚の状態も赤みが出る程度で深刻には見えず安心しがちです。しかし、実際にはやけどが深部にまで達していることも多いので、応急処置をしたら必ず受診してください！